

真田宝物館だより

六^あ連^ん銭^{せん}

第49号

令和5年8月発行



宇和島城下絵図屏風（宇和島市立伊達博物館所蔵）



金小札印花威具足（(公財)宇和島伊達文化保存会所蔵）

真田家と 宇和島藩伊達家 展

令和5年度特別展

源氏物語豆本

（(公財)宇和島伊達文化保存会所蔵）

掲載内容

- 令和5年度特別展「真田家と宇和島藩伊達家」
- 真田家伝来の大名道具
- 活動報告「真田宝物館であそぼ！2023」
- 展示スケジュール
- 次回 企画展紹介
- 学芸レポート「資料撮影」・「博物館実習」

学芸レポート①

「資料撮影」



真田宝物館で収蔵する真田家伝来の大名道具・約5万点を含む膨大な資料は、古美術品の撮影も手がけるカメラマンに依頼し、順次撮影を行っています。

本年は収蔵資料データベースの再構築・公開に向け、通常の何倍もの撮影を予定しており、資料の選定・出納から設置・アングル決め・写真の確認といった一連の作業を、職員一丸となって鋭意進めています。

学芸レポート②

「博物館実習」



襖下張文書の整理作業

7月25日(火)～7月29日(土)の5日間、博物館実習を行いました。資料の取り扱いや博物館ボランティアの活動まで幅広い内容を学んでいただきました。

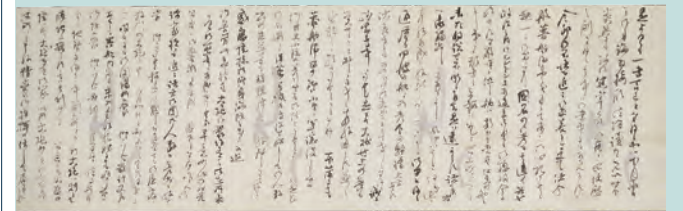
連日の暑さにもかかわらず、元気に活動される姿にパワーをもらいました。



山寺常山肖像



ペリー等画像



山寺常山宛佐久間象山書状（部分 嘉永6年7月6日付）

松代藩士山寺家。その学識を高く評価され、藩政に大きく関与した山寺常山を輩出した家として有名ですが、常山の子孫もまた、様々な分野で多くの業績を近代日本に遺してきました。

フランス語に長け、フランスの経済学者・フレデリック・バステア著『理財要論』を翻訳・出版した信炳（常山嫡男）。陶磁器やガラスなどの製造を研究・指導する立場として、有田徒弟学校や静岡漆工学校など当時最先端の技術を研究する学校の学校長を歴任した容磨（常山孫）。大正3年～5年（1914～1916）の間、海軍大佐として戦艦三笠の艦長をつとめた久保来復（常山孫）。検事として勤務後、司法省行刑局長・名古屋控訴院検事長・大審院次長検事などを経て、昭和12年（1937）より司法大臣として入閣した塩野季彦（常山孫）など、その多才さが目を引きます。

本企画展では、山寺家寄贈資料を紐解き、山寺常山をはじめとする、近世末期から近代に至る山寺家の軌跡をご紹介します。

次回企画展

山寺家資料展

12月20日(水)～4月15日(月)



真田宝物館
The Sanada Treasures Museum



（長野市教育委員会文化財課 松代文化施設等管理事務所）

〒381-1231 長野県長野市松代町松代4-1 TEL.026-278-2801
HP <http://www.sanadahoumotsukan.com>

真田宝物館だより 六連銭49号
発行 真田宝物館 令和5年8月 印刷 有限会社アツッーロ

真田家と宇和島藩伊達家



真田幸民肖像（真田宝物館所蔵）



紺裾濃威具足羽織
（（公財）宇和島伊達文化保存会所蔵）

江戸時代、宇和島藩伊達家と松代藩真田家とは深いかかわりがありました。

初代藩主・真田信之の孫にあたる3代藩主・真田幸道の正室には、宇和島藩伊達家から豊姫（法雲院）が輿入れしています。今日、千曲市や松代周辺で栽培される杏は、豊姫によって宇和島から松代へ伝えられたという伝承があります。

また、10代藩主・真田幸民も宇和島藩伊達家から真田家へ養子として迎えられています。幸民は幕末の混乱期にあって新政府軍として戊辰戦争に参戦し、版籍奉還・廃藩置県の後、松代藩知事に任命されました。今年、2023年は幸民の没後120年忌にあたります。

本特別展では、松代藩真田家と宇和島藩伊達家のかかわりを、伝来の大名道具や資料などから探ります。宇和島藩伊達家の大名道具を収蔵する宇和島伊達文化保存会並びに宇和島市立伊達博物館と真田宝物館との交流展として、当館では初めて各館所蔵の資料をご紹介します。



英国軍艦旗（（公財）宇和島伊達文化保存会所蔵）

令和5年9月27日(水)～12月18日(月)

前期 9月27日(水)～11月6日(月)
後期 11月8日(水)～12月18日(月)

主催 真田宝物館（長野市教育委員会）
協力 公益財団法人宇和島伊達文化保存会・宇和島市教育委員会

関連イベント

記念講演会 10月21日(土) 14:00～

演題：「宇和島藩伊達家と真田家―豊姫と幸民をめぐる人々―」
講師：志後野迫 希世さん 宇和島市立伊達博物館学芸員
場所：松代支所2階 大会議室
聴講無料・定員60人・申込不要・先着順

ギャラリートーク（展示解説）

9月27日(水)、30日(土)
11月15日(水)、18日(土) いずれも10:00～

ワークショップ「甲冑の着用体験」

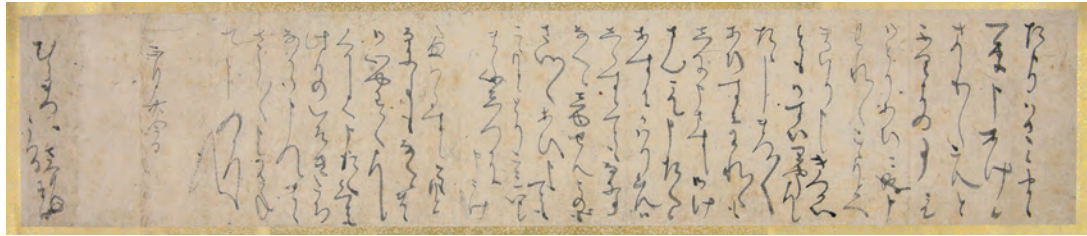
日時：10月14日(土) 10:00～12:00
場所：真田宝物館 真田わくわくルーム
参加費：入館料のみ ※混雑時にはお待ちいただきます。



真田家伝来の大名道具を知れば知るほどおもしろい！

9月27日～12月18日 展示

真田家の歴史



真田信繁書状（慶長20年正月24日付）

大坂冬の陣の後、真田信繁（幸村）が大坂城中から姉・村松殿へ書き送った書状。「とりあえず戦が終わり、死なないでいる」と伝えている。

大名道具I

黒塗桐折枝金蒔絵鞍

黒漆塗に桐と六連銭が配され、座面は村梨子地の蒔絵がほどこされている。「御武器帳」によれば、6代藩主・真田幸弘が松代に入部する際に使用したものという。



大名道具II

お歯黒道具

真田家当主・妻の婚礼道具のうち、既婚女性のお化粧・お歯黒の道具。輪舟の上に耳盥・渡金を置き、原料の粉を入れるふたつきの容器、溶くための杯、注ぐための薬缶を置く。



活動報告 真田宝物館であそぼ!2023

7月29日(土)、子ども向け夏休みイベント「真田宝物館であそぼ!」を開催しました。本年度14回目を迎える毎年恒例のイベントです。松代の文化施設を会場にして松代文化財ボランティアの会の会員のみなさんと共に、かざぐるまづくり、紙ひこうき、ご来迎人形づくりなど、さまざまなワークショップを行いました。



かざぐるまをつくる



お話の間



塩水電池をつくる
エレクトリ体験



ぶんぶんごま

真田家と宇和島藩伊達家展

令和5年

9月27日(水)～12月18日(月)

山寺家資料展

令和6年

12月20日(水)～令和6年4月15日(月)

真田家と白鳥神社展(仮)

4月17日(水)～